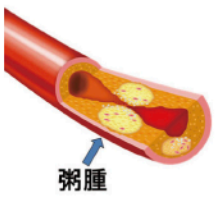
Vol.96

動脈硬化とは？

動脈硬化とは、文字通り『動脈が硬くなること』です。



循環器内科医師
寺内 靖順

高血圧などの影響で、動脈が硬くなり、血管壁にお粥のような柔らかい沈着物（粥腫；じゅくしゅ）がたまっていきます。ちょうど古い水道管が汚れて詰まってくるのと同じです。

脳に栄養を送っている動脈が詰まると脳梗塞、心臓の場合には心筋梗塞となってしまいます。高血圧や高コレステロール血症、糖尿病といった病気を抱えている人は、動脈硬化の進行がはやいので、手遅れにならないよう、普段から血管の状態をチェックすることが大事です。負担の少ない方法で評価できますので、不安に思われる方は、ぜひお越しください。

社会医療法人真泉会
今治第一病院　循環器内科　☎0898-23-2000
今治市宮下町1-1-21　https://www.imabari-daiichi.com/

この人に聞く

コープ松山三越オープン

昨年11月23日、松山市の松山三越の地階にスーパー「コープ松山三越」がオープンした。デパ地下にスーパーが進出するという新たな取り組み。コープえひめの山川専務にその戦略などを聞いた。

生活協同組合コープえひめ専務理事
山川 光男さん（56）

経歴メモ
やまかわ みつお
1967年6月5日生まれ、松山市（旧中島町）出身。松山商科大学短期大学部卒、1988年、えひめ生協入協、2012年、常任理事、2018年、専務理事。妻と1男1女。趣味はゴルフ。血液型O型。

進出の経緯は―

コープでは一般的に言われる「売り場」を組合員（お客様）の立場で「買い場」と言います。三越伊勢丹さんも「お買い場」という言い方をしていてコープえひめの山川専務にその戦略などを聞いた。

進出の経緯は―

コープでは一般的に言われる「売り場」を組合員（お客様）の立場で「買い場」と言います。三越伊勢丹さんも「お買い場」という言い方をしていて「お客様の暮らしを豊かにする」という企業理念を掲げられていて、考えや地域に貢献したいという部分で通ずるものがありました。1キロ圏内にスーパーがないなど商圏分析も行い、利益はトントンで構わないのでコープえひめの理念である「よりよいくらしの想いをかたちに」と4つあるビジョンの1つの、「地域の人々とともに住みよいまちづくりを進める」に基づき出店を決めました。

店の特徴は―

買い場面積は約410坪。既存店よりは多少値段は高いクオリティーコープ商品を並べてデパ地下のイメージを保ちつつ基本的にはスーパーの品揃えにしています。生鮮食品コーナーが買い場の面積の6割を占め、ゆっくり買い物できるのも特徴です。またお魚屋さんや肉屋さんによるオリジナル食品の他に、周辺には県庁や松山市役所や企業があり、手ごろな値段の昼食や夕食の弁当にも力を入れています。

開店直後の状況は―

オープン後の来店客数は試算よりも上回っています。既存店ではお昼と夕方がピークですが、三越ではお昼のピークの後も夕方まであまり客数は下がらず、再び5時から7時にピークを迎えています。途中で品揃えの時間がとれないというほどうれしい悲鳴ですね。ただお客様単価は試算よりやや下回っています。

来店者の反応は―

「近くにスーパーがなく本当に感謝しています」という声を多くいただいています。それと安心・安全ブランドの「コープえひめで良かった」という声ですね。コープえひめは現在、県内で30万8千人を超えられる方が組合員になられていて、県内の世帯当たりの加入率は51％。これは全国の生協128のうち8位という組織率なので、多くの県民の方の暮らしに関わることができていることだと思っています。

今後の課題と展開は―

外国人の来店も多く言葉も課題です。また車で来店できない人のための宅配サービスも課題です。オープンの際には、コープのレシートで松山三越に入っているテナントの割引ができるサービスをテナントさんから提案してくれました。こうしたテナントさんと一体となったキャンペーンで松山三越を、そして商店街を盛り上げたいですね。そのためにも、とびっきりの笑顔で「ありがとう」の気持ちを忘れず、地域の人たちの笑顔を増やしていきたいですね。

（富須賀　久徳）

題字は藤岡 抱玉さん

海賊が眺めた原風景

写真展「海賊を連れて」開催

村上海賊ミュージアム

村上海賊ミュージアム（宮窪町）で企画展「海賊を連れて」を開催中です。今治出身の写真家末長真さんによる瀬戸内海原風景の写真展。村上海賊が眺めていたであろう〝原初の瀬戸内海〟に近い風景を撮影。大型の手漉き和紙に印刷し、壮大なスケール感を体感できます。

期間は2月18日（日）まで。開館は9時～17時。写真展は入場無料。

【問】0897-74-1065

ウーマンラッシュアワー 村本さんがやってきた

マイク1本で会場沸かす

お笑いコンビ・ウーマンラッシュアワーの村本大輔さん（43）が「村本大輔一線を越えるスタンドアップコメディ in 今治」を先ごろジャムサウンズ（北高下）で開催し、マイク1本で会場を沸かしました。国内での活動を終え、2024年から渡米が予定されている村本さんは日本各地さまざまなところでライブをしています。

当日はテレビではなかなか放送できないような政治や社会問題に鋭く切り込むトークを披露。村本さんは「テレビでやらないようなこともする。呼んでくれた、求められたところに行く」と話しています。

▲マイク1本で笑いを届ける村本さん